

平成22年度一般会計当初予算説明資料

5款 労働費  
1項 労政費  
1目 労政総務費

雇用人材総室（内線：7229）  
（単位：千円）

| 事業名          | 本年度   | 前年度    | 比較     | 財 源 内 訳 |     |             |        | 備考 |
|--------------|---|--------|--------|---------|-----|-------------|--------|----|
|              |   |        |        | 国庫支出金   | 起 債 | その他         | 一般財源   |    |
| 若年者就業支援事業    | 74,985                                      | 76,459 | △1,474 |         |     | 173<br>〈雑入〉 | 74,812 |    |
| トータルコスト      | 96,769千円（前年度 98,829千円）〔正職員：2.7人 非常勤職員：9.0人〕 |        |        |         |     |             |        |    |
| 主な業務内容       | 若者仕事ぶらざ等、若年者就業支援窓口の設置及び支援の実施                |        |        |         |     |             |        |    |
| 工程表の政策目標（指標） | 40歳未満の就職率を前年以上とする                           |        |        |         |     |             |        |    |

説明

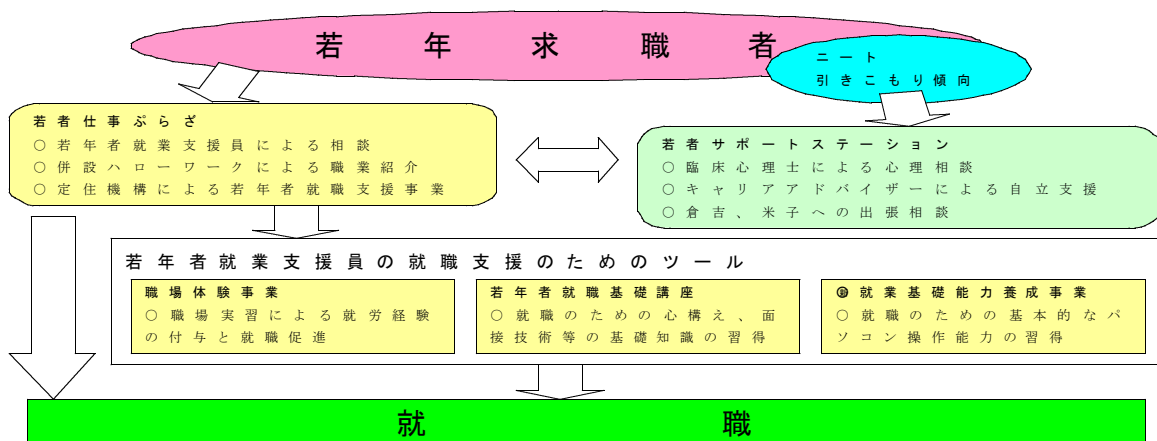
1 事業概要

県内の東中西部に若年者の就業支援施設である「若者仕事ぶらざ」を設置し、それぞれに支援員を配置して、若年者（おおむね40歳未満）に対するきめ細かな相談等を行いながら職業意識の形成、職業人としての基礎的能力の習得を図ることにより早期就職・職場定着を促進する。また、「若者サポートステーション」を設置し、ニート、引きこもり等の就職支援を行う。

2 事業内容

| 項 目                    | 事 業 内 容  | 予算額    |
|------------------------|--|--------|
| とっとり・くらし・よなご若者仕事ぶらざの設置 | ○鳥取市、倉吉市及び米子市に若者の就職支援をワンストップで行う「若者仕事ぶらざ」を引続き設置・運営                      | 23,178 |
| 若者サポートステーションの設置        | ○ニート、引きこもり等の者の生活・就職支援を行うため、「若者サポートステーション」を設置・運営                        | 8,510  |
| 若年者就業支援員の配置            | ○若者の就職相談等に応じ、早期就職を支援<br>○配置：とっとり若者仕事ぶらざ3人、くらし若者仕事ぶらざ2人、よなご若者仕事ぶらざ3人    | 32,042 |
| その他                    | ○職場体験講習、若年者就職基礎講座の実施<br>○パソコン講習（ <b>新</b> 就業基礎能力養成事業）の受講<br>斡旋、職業訓練の案内 | 11,255 |

【事業の流れ】



3 これまでの取組状況、改善点

平成20年6月に「若者サポートステーション」を、平成21年2月に「くらし若者仕事ぶらざ」を開設したほか、平成20年度中に鳥取と米子の「若者仕事ぶらざ」の就業支援員を1名ずつ増員するなど、若年者の就業支援態勢を整備することが出来た。また、平成21年9月補正予算により、相談者の早期就職を目的に実務型パソコン講習（平成22年度は就業基礎能力養成事業に事業を組み替え）を実施しており、就職支援のためのツールを充実させた。